

にいがた創業応援団の運用状況

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)

追加型投信／内外／資産複合

2021年11月1日

- リスク抑制型・4資産バランスファンド（愛称 にいがた創業応援団）は10月25日に第4期決算を迎え、分配金200円（税引前）をお支払いした後の第4期末の基準価額は**10,476円**となりました。
- 分配金200円（同）を含めた**第4期の値上がり額は573円**となりました。
- 米国株式や日系外債（日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券）などへの投資が、基準価額の上昇に寄与しました。

【第4期のパフォーマンス】

当ファンドは、第3期末（2021年4月26日）から第4期末（2021年10月25日）までに、**分配金200円（税引前）を含めて573円上昇し、基準価額が10,476円**となりました。

この間、**組み入れている4資産の価格がすべて上昇しました**。4資産のなかでは**米国の株式や日系外債が基準価額の上昇に大きく寄与しました**。

米国株式市場は、バイデン政権によるインフラ投資政策への期待や、大手ハイテク企業を中心に企業業績が良好となったことがサポート要因となり、上昇しました。

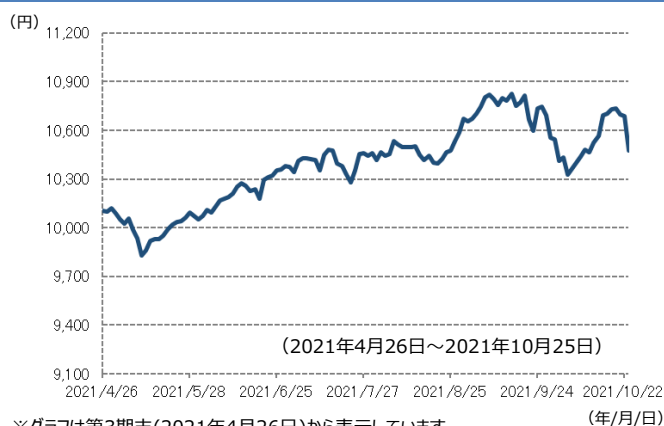
また米国の債券市場は、中国の景気減速観測等を背景に、7月までは利回りが低下基調を辿りました。しかし、その後は米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の早期縮小観測を受けて、利回りが上昇する動きとなりました。

【資産別構成比の推移】

当ファンドは、推計した市場リスクの水準に応じて、ポートフォリオ全体のボラティリティが概ね年率7%程度となるように4資産の組入比率を調整する運用を行っています。

第4期初めから2021年6月中旬にかけては、値動きの小さい日系外債の組入比率を引き上げ40%程度で投資した一方、他の3資産の組入比率を引き下げました。その後、6月のリバランスでは日系外債の組入れ比率を引き下げ、他3資産の組入れ比率を引き上げ、10月中旬までは、4資産の比率を概ね横ばいで推移させました。これまでの期間において、**組入比率を引き上げた日米の株式やJリートの価格が上昇したことから、当ファンドの基準価額の上昇に寄与しました**。10月中旬以降は、市場推計リスクが上昇したことから、日系外債の組入比率を引き上げました。

基準価額の推移と変動要因



※グラフは第3期末(2021年4月26日)から表示しています。

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

(2021年4月27日～2021年10月25日)

日本連続増配成長株マザーファンド	米国成長株オゾンマザーファンド	Jリート・マザーファンド	日系外債マザーファンドⅡ	その他	分配金(税引前)	信託報酬等
122円	424円	62円	175円	▲139円	▲200円	▲71円

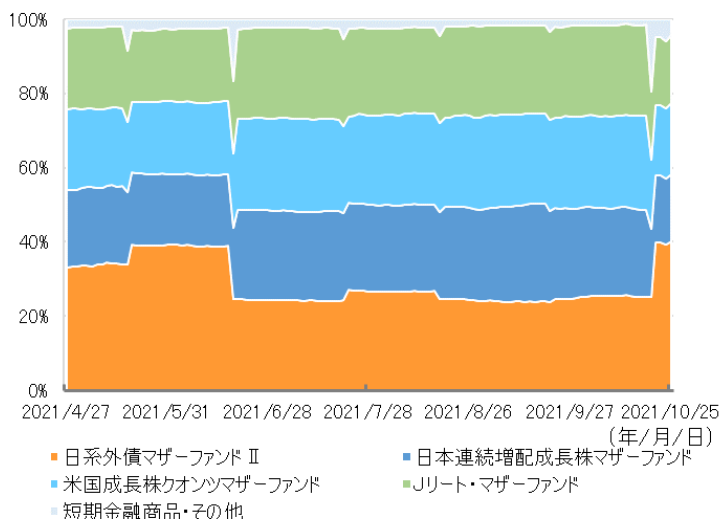
※各投資対象ファンド、分配金、信託報酬等に分けて1万口当たりで表示したものです。

簡便法により試算した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。また、円未満四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

※その他は、主として為替ヘッジに伴う損益です。

各資産の組入比率の推移

(2021年4月27日～2021年10月25日 日次)



<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合

【各市場の今後の見通しと当面の運用方針】

国内株式市場は、強弱材料が交錯し方向感に乏しい動きを想定しています。国内では新政権の政策への期待が株価の追い風になると期待されます。一方、足元の経済は、コロナ禍によって押し下げられた水準から急速に回復する時期が終わりつつあるように見られるなかで、世界的なサプライチェーンの混乱や、資源高が生じており、これらの影響が今後の企業業績の重しになることが懸念されます。当ファンドの運用につきましては、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮してユニバースを構築し、その中から、成長性や連続増配の持続可能性等を勘案しポートフォリオを構築します。

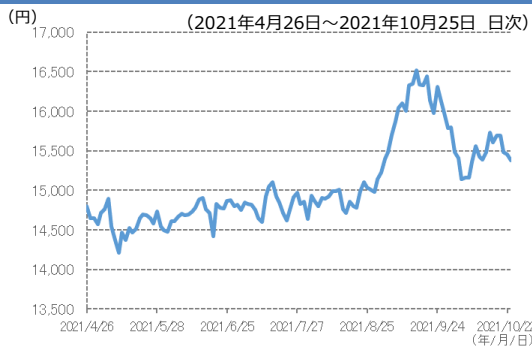
短期的には上値の重い展開が予想されます。2021年前半は大幅増益となった企業業績ですが、原材料や人件費の上昇、サプライチェーンの混乱などから、上方修正のトレンドに頭打ち感が出ています。また、FRBによる量的金融緩和政策の縮小が開始される見通しであり、利益確定の売りが出やすい相場展開が予想されます。一方、バイデン政権による子育て・教育支援、気候変動対策や、インフラ投資計画に対する予算案が可決されれば、株式市場にとって好材料になるものと予想されます。

リート市場は、足元程度の水準でもみ合った後、堅調に推移すると予想します。足元では東京のオフィス空室率の上昇が続くなどリートの内部成長余地が小さくなっており、短期的には上値の追いき展開が続くと見えています。しかし経済活動正常化による空室率の低下や物件取得によって分配金の成長が再び望めるようになるにつれ、堅調に推移する局面に移行すると見えています。

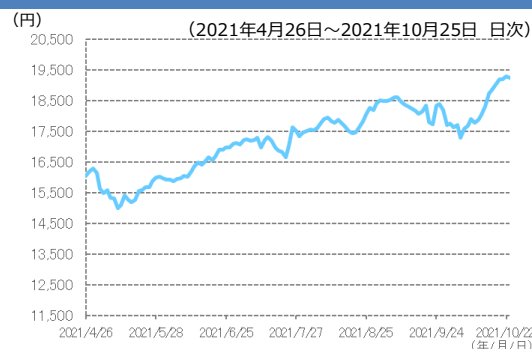
当ファンドの運用につきましては、個別銘柄の資産内容や信用力、バリュエーションなどを勘案し、個別銘柄の選定やウェイト付けを行います。

欧米主要国の債券市場は当面不安定ですが、徐々に利回りが低下に向かう展開を予想しています。今後も暫くの間は、コロナ禍による世界各地での生産や物流の停滞が物価上昇圧力となり、市場にインフレ警戒感をもたらすと思われます。しかし、こうした供給制約は経済再開に伴う一時的な現象と考えられることから、早晚物価上昇には歯止めがかかり、インフレ警戒感は弱まると思われます。また、足元の利上げ観測に対する市場の反応が行き過ぎと見られることもあり、今後は過剰な利上げの織込みが剥落することにより、利回りが低下に向かうと見込んでいます。

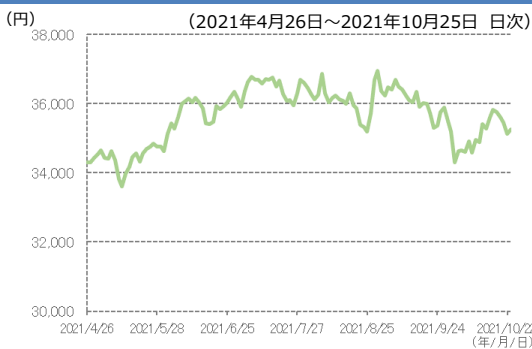
日本連続増配成長株マザーファンド 基準価額の推移



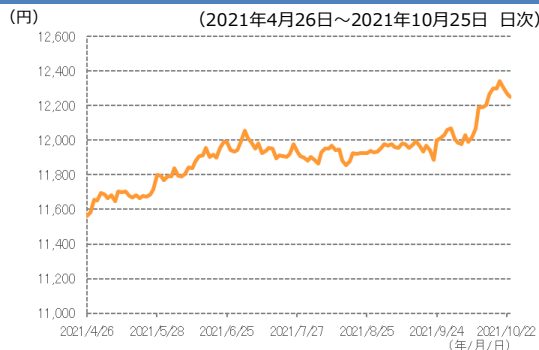
米国成長株クオンツマザーファンド 基準価額の推移



リート・マザーファンド 基準価額の推移



日系外債マザーファンドⅡ 基準価額の推移



※基準価額は1万口当たりです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合

【当面の運用方針】

2021年9月下旬以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）において量的金融緩和の縮小（テーパリング）の年内開始が示唆されたことなどから、米国債利回りが上昇したことを受けて、市場リスクは上昇しました。今後については、世界的にも新型コロナウイルスの変異株による感染拡大の警戒などから、一時的に推計市場リスクが上昇することも予想されます。しかしながら、ワクチンの普及や財政・金融政策が下支え要因となり、推計市場リスクは落ち着くと考えています。引き続き、市場のリスク水準をモニターし、ポートフォリオ全体のボラティリティが概ね年率7%程度となるように4資産の組入比率を調整する運用を行ってまいります。

ファンドの状況【分配金・設定来の騰落・各資産の組入比率】

2021年10月25日現在

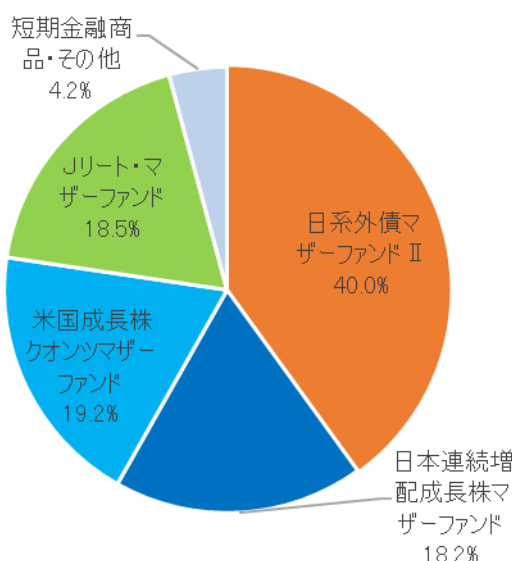
基準価額	10,476 円
純資産総額	28.5 億円

※基準価額は、1万口当たりです。

騰落率		設定来
分配金再投資基準価額		8.76%
資産	指数	
日本株式	東証株価指数 (TOPIX)	19.78%
米国株式	MSCI USA指数 (円換算後)	59.24%
J-REIT	東証REIT指数 (配当込み)	▲0.04%
海外債券	FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPY	4.39%

設定来の分配金推移	
2020/4/24	0円
2020/10/26	0円
2021/4/26	200円
2021/10/25	200円
設定来合計	400円

- ※分配金再投資基準価額とは、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ※MSCI USA指数とはMSCI Inc.が算出する株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ※FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ※国内指数の設定来騰落率は、設定日前営業日の終値との比較です。
- ※外国指数の騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。
- ※騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社で作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合**
リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式、米国の株式、米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券、国内の不動産投資信託証券等の値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、米国の株式については、為替相場の変動により損失を被ることがあります。米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「不動産投資信託リスク(価格変動リスク・分配金(配当金)減少リスク)」「劣後債のリスク」があります。その他の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)」があります。
 - 劣後債への投資には「弁済の劣後」、「繰上償還延期」、「利息の繰り延べまたは停止」、「制度変更等によって不利益を被る」等の可能性があり、リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.375%（税抜1.25%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)
追加型投信／内外／資産複合**

2021年11月1日現在

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)